



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ/リチャード D.キング会長

「ロータリーの心を伝えよう—家庭に、職場に、地域に—」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ/大日方 真会長

本日の例会 2002年2月22日 第736回例会
ロータリー創立記念例会

(ロータリー創立記念日 2月23日)

卓話

「ロータリーのこれまでとこれから」

第2750地区パスト・ガバナー
東京世田谷ロータリークラブ会員 川尻 政輝氏

先週報告 2月15日 第735回例会

◎幹事報告

2月25日(月)の地区新会員研修セミナー、2月26日(火)の千代田・CグループIMに登録された会員の方は、ご出席よろしくお願いします。

◎新世代委員会報告(圓谷委員長)

15周年記念事業委員会、社会奉仕委員会との連携でアイメイト使用者の小学生向け講演会を下記のように企画しました。これらの講演を聴講ご希望の方は当委員会までご連絡ください。

1回目:2月27日(水)10:45～12:00

高輪台小学校4年生(講師:高橋雅枝さん)

2回目:2月28日(木)10:45～12:20

芝小学校3,4年生(講師:三村栄子さん)

3回目:3月12日(水)10:45～12:00

高輪台小学校1,2年生(講師:高橋雅枝さん)

◎社会奉仕委員会報告(村山委員長)

①2月12日(火)、NHKのプロジェクトXでアイメイトが紹介されました。ビデオを撮ってありますので、ご入用の方は村山までお申し出願います。

②2月末に、アイメイト4号利用者の修了歩行が銀座で行われます。詳細は後日連絡しますが、是非ご参加願います。本日までのアイメイト募金額は、903,000円です。

◎前年度青少年交換委員会(石坂カウンセラー)

1年前にオーストラリアに帰国したマディさんから、手紙を頂きました。『日本料理の本〔当クラブからお贈りし、小杉(眞)会員の子女が託送したもの〕有り難う御座いました。大変参考になり、大事に使っております。元気で日本語の勉強も続けております。オーストラリアは冷夏です。クラブの皆様宜しくお伝え下さい。』

◎慶事披露 誕生日祝 島田昌雄君/古希祝(2月15日)・土屋東一君(2月13日)・斉藤茂之君(2月18日)

◎出席報告

会員67名/出席46名・欠席21名(出席規定免除者9名)
ビジター3名・ゲスト1名(米山奨学生・党偉栄さん)

「マンガで見る環境白書」を贈呈

環境保全委員会

2月13日、「マンガで見る環境白書」(平成13年度版340部)を港区立青南小学校の4～6年生を対象に贈呈した。

これは、環境保全委員会が恒例の行事として実施したもので、幼少の頃から環境問題に対する認識を深めてもらうことを目的としている。

当日は北村校長に面会し、簡単な贈呈式を行った後、最近の小学校事情などを伺った。少子化の影響で通常なら生徒数が減少する中、青南小学校は他地域からの越境入学が多いこともあって、一学年100名を上回る水準に達しているとのこと。



なお、当方からは大日方会長、新保幹事、村山社会奉仕委員長、福島環境保全委員長、私(同副委員長)が参加した。

(荻野 記)



2月15日/16件35,000円

2001～2002年度累計1,176,000円
多額の御寄付を有難うございました。

開発英基/尾上さんのスピーチ応援します。岩上義明/尾上さん、イニシエーションスピーチおめでとうございます。楽しいお話を期待しています。入沢頼二/尾上さん、一筋の話、楽しみにしております。新保國彦/尾上さんのイニシエーションスピーチ、楽しみにしていました。島田昌雄/誕生日のお祝を頂き有難うございました。末日、満70才の占希を迎えましたが、人生の第4コーナーを心爽やかに過し度いと思っています。土屋東一/誕生祝いをありがたくお礼申し上げます。青木政明/2月9日に結婚いたしました。どうなるか分からなかったもので、式が終わるまで報告はひかえさせていただきました。申し訳ございません。また、おひろめいたします。小杉眞史/次女(千晴)がオーストラリアのマディさんの所から帰国しました。皆様によりしくとの事お伝えいたします。山下忠治/会計事務所創業35周年で、職員共々ハワイへ行ってきました。鈴木康一/1月の火曜会でお話した2/28私のSHOPオープンの件、先方の運営の都合で少し延期になりました。いずれ、よろしく。村山公士/先日プロジェクトXにおけるアイメイトの話、感激しました。青野信次/久しぶりの例会です。福島さん色々ありがとうございます。佐々木忠行/福島さん、ニコニコご苦労様です。河原勢自/福島さん、おはようございます。がんばって下さい。萩野道雄/福島さん、いつもご苦労さまです。福島賢哉/久しぶりのニコニコ担当です。尾上さん、イニシエーション楽しみにしています。皆様多額の御寄付有難うございました。

「不動産一筋で26年間」

当クラブ会員

株式会社五黄興産 専務取締役

尾上 寛

昭和52年秋、独立と同時に結婚致しました。

何よりのプレッシャーは、自分ひとりならば何とかできるがこの先果たして女房を食べさせる事が出来るかどうかということでした。幸にも両親が結婚の祝いとして、家を建ててくれたので取り敢えず住む所の心配は無いので後は何とかなると思いました。

しかし、現実にはそんなに甘くは無く、不動産は信用が第一であり、まして会社を興した時の年齢は26才です。営業先は全て法人、事業用不動産はお客の依頼を受けてから契約が成立するまで、最短でも半年、長ければ1年くらいはザラです。よって、それまで収入が全くない上、事務所の経費、生活費等で貯金も底を突き始め、よほど親に援助を申し出ようかと思いましたが、「人間楽をすればきりが無い、何とか頑張ろう」と思いました。

しかし、そういう時期に限って友人より飲み会の誘いがあり、私の返事は毎度「仕事が忙しいので又の機会に」でした。会社が終われば毎日判を押した様に家に帰りました。そんな生活が1年続き、やっと2年目より収入がトントン、4年目で税務調査が入り追徴金を支払い、以降バブル経済を経験し、何とかここまでやってこれました。

現在、当社の主体は事業用不動産のサブリース事業です。最近では競売物件にも積極的に手を出し、収益物件を中心に買取を行っています。ちなみに利回りは年15%以上、当然借金も増え続けています。

先日開発さんよりイニシエーションスピーチの手引きを頂きました。イニシエーションスピーチが終われば貴方も今日から立派な東京新南ロータリークラブのロータリアンであると書かれました。

やっとロータリアンになる事が出来ました。今後とも宜しくお願い致します。

2月是世界理解月間です。 (World Understanding Month)

1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、2月を「世界理解月間」と指定、この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と親善を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されている。

また2月23日の創立記念日は世界理解と平和の日 (World Understanding and Peace Day) と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならない。1992年規定審議会は、2月23日に始まる1週間を世界理解と平和週間と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議した。

お知らせ

会員事業所移転／松田 公太君

タリーズコーヒージャパン株式会社

〒107-0052 港区赤坂2-11-7 赤坂ツインタワー新館13階

TEL: 03-3568-8282 FAX: 03-3568-8283

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕大日方真 〔副会長〕谷村義雄 〔幹事〕新保國彦

〔会報委員長〕小杉真史 〔今週の担当〕横山秀明

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp

例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

イタズラ心

四月一日エイプリルフールが待ち遠しい。エッ、まだそんなことあったっけと、怪訝な顔をする人もあろうかと思うが、ドンと来い！ここにその日に向かって生き生きとしている人間がいる。僕のことだ。

担ごうとする相手を絞る。プロは、簡単にダメされるような相手を選ばない。ダメし甲斐がない、張り合いがない。警戒に警戒を重ねている相手に、つまり針の穴にラクダを通すような難事業に挑む、これがプロの仕事だ。

また、日頃みんなから生意気な、と思われているようなヤツがいい。後で聞いて、みんなが「ざましろ、康一良くやった」と大向こうから拍手喝采が湧き上がる。担ぎ道を窮めようとする人間にとっては冥利に尽きるといえよう。

そうそう、大事なことがある。それは担ぎ道にも、絶対な掟がある。相手に迷惑をかけたり、困らせたりしてはならないということ。特に男女関係に絡むことをネタにはしてはならない。女性には冗談が通じない。うらまれて、散々な目にあったことがある。これらは大原則である。

エイプリルフールではないが、その一つ。ややブラック感覚ものだが、自称酒道を任じていた奴がいた。飲み始めると、この酒はなんじゃら、かんじゃら、イスラエルのワイン知ってる、てな具合とにかく講釈、御託を並べみんなから顰蹙を買っていた。そこに僕が登場である。

ある夜、その御仁と大阪ヒルトンホテルのバー「李白」で飲んでいて。その日はバーボン談義。いい加減辟易していたが、それが僕のイタズラ心に火をつけた。

「部屋にちょっといいリキュールがあるんだけど」と持ちかける。「なんだ、なんだ」とせき立てるから、「いいかい、誰にも言うなよ、秘伝中の秘伝、入手ルートが分かると、ちょっと厄介なことになるんだ」と散々相手をじらし、相手の気持ちの昂ぶり様を観察する。そしてイソイソと部屋まで付いてくる。カバンから銀製のグラスを取り出し、「実はイタリアのメディチ家に代代伝わる寝酒なんだ」と耳元で囁く。慌ててコップで飲もうとするから、「ダメダメ、せっかくだもん、リキュールグラスを取り寄せようよ」とルームサービスに電話を入れる。ここの呼吸、相手との丁丁発止か何より楽しい。

とにかく飲んだ。「うまい、凄い、この濃密な味、やっぱり歴史だな、鈴木！」ときた。部屋を出て長い廊下を歩きながら、「また頼むぞ」なんて手を振っている。ドアを閉めて一人になって、「やった、やった」と小躍り。実は、その中身は「養命酒」だったのである。あれから10数年、相手は今もメディチ家のリキュールと思い込んでいる。いささか可哀想になっている。担ぎ道の良心である。

次週予告 2002年3月1日 第737回例会

卓話予定

「太陽エネルギーを利用する環境改善技術・

土壌汚染と都市温暖化」

東京大学 先端科学技術研究センター

教授 橋本 和仁氏